

## 抗 ヒトマクロファージ (CD68) モノクローナル抗体 (Clone No. PM-1K)

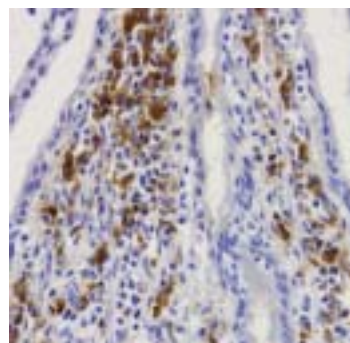
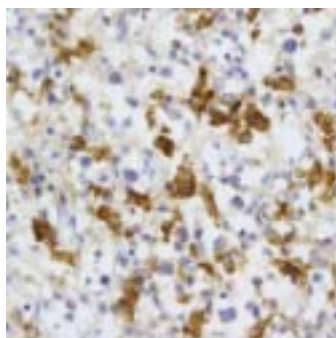
マクロファージは骨髄で造血幹細胞から分化した後、単球を経て形成され、全身の組織に分布していきます。脊椎動物の自然免疫と獲得免疫において、単球やマクロファージは細胞残渣や細菌などを貪食消化する異物排除機能を示すのみならず、免疫応答において抗原提示細胞の役割を果たし、リンパ球やその他の免疫細胞を活性化します。

マクロファージは、CD68 に代表される単球 / マクロファージに特有なタンパク質の存在により同定が可能で、なかでも抗 CD68 抗体はマクロファージの検出に広く利用されてきました。CD68 は、LAMP ファミリーに属し、単球とマクロファージ系細胞に幅広く発現する 110 kDa の膜糖タンパク質です。

PM-1K 抗体によって検出される抗原の分子量は 110-kDa であり、本抗体を用いた免疫沈降で得られる抗原は KP-1、PG-M1 などの抗 CD68 抗体によって認識されます。以上のことから本抗体は CD68 を認識する抗体であることがわかっています。

本抗体はヒト単球ならびに組織マクロファージを認識しますが、ヒト以外にモルモットのマクロファージに対して強い交差性を示すほか、ブタ、ウシ、サルにも交差性を示し、これらの動物モデルにおける CD68 陽性マクロファージの同定に有用です。

容量	50 $\mu$ g (200 $\mu$ L/ vial)
形状	マウスモノクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロックエース(安定化タンパク質) 0.1%Proclin 含有]
保管方法	- 20 $^{\circ}$ C 以下 抗体を低濃度にて低温保存されますと、失活する恐れがあります。 融解後は 4 $^{\circ}$ C で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
サブクラス	IgG2b, $\kappa$
製造方法	子宮内膜症患者の腹腔細胞によって免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞とマウスミエローマ NS-1 細胞を融合して得たハイブリドーマを BALB/c マウス腹腔内で増殖させ、腹水を採取。採取した腹水より ProteinG アフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	免疫染色: 10 $\mu$ g/mL



左; ヒト脾臓凍結切片:

赤脾髄のマクロファージが陽性

右; モルモット小腸パラフィン切片:

固有層のマクロファージが陽性

提供 竹屋 元裕 教授

熊本大学大学院医学薬学研究部

細胞病理学分野

## 抗 ヒトマクロファージ (CD68) モノクローナル抗体 (Clone No. PM-1K)

### 【陽性を示すヒト器官・細胞】

器官・細胞	分布	器官・細胞	分布
心臓	筋内 M	リンパ節	濾胞 M 傍皮質 M
肺	肺胞 M	膵臓, 唾液, 甲状腺, 副腎, 膀胱, 前立腺, 気管	間質内 M 粘膜固有層 M
肝臓	クッパー細胞 肺胞中隔 M	皮膚	皮膚 M ランゲルハンス細胞
腎臓	間質 M 尿細管上皮	血液単球	血液単球
脾臓	赤脾臓 M 白脾臓 M	血中好中球	血中好中球
胸腺	皮質 M 髄質 M	骨髄系細胞株	THP-1 MonoMac6

M : マクロファージ

### 【参考文献】\*本抗体使用文献

1. Horikawa T, Komohara Y, Kiyota E, Terasaki Y, Takagi K, Takeya M. .Detection of guinea pig macrophages by a new CD68 monoclonal antibody, PM-1K. *J Mol Histol*, 37:15-25, 2006\*
2. Suenaga Y, Katabuchi H, Fukumatsu Y, Okamura H. Distribution and cytological properties of macrophages in human Fallopian tubes. *Acta Anat (Basel)*, 163:10-19, 1998
3. Imamura T, Iyama K, Takeya M, Kambara T, Nakamura S. Role of macrophage tissue factor in the development of the delayed hypersensitivity reaction in monkey skin. *Cell Immunol*, 152:614-622, 1993
4. Okamoto M, Yamamoto T, Matsubara S, Kukita I, Takeya M, Miyauchi Y, Kambara T. Factor XIII-dependent generation of 5th complement component(C5)-derived monocyte chemotactic factor coinciding with plasma clotting. *Biochem Biophys Acta*, 1138:53-61, 1992

製造元



〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp